

第26回日本小児心電学会が11月11～12日に大阪市中央公会堂で開催されます。

11月11日12時20分～12日夕方に、第26回日本小児心電学会が、大阪市立総合医療センター小児不整脈科 鈴木嗣敏会長により、大阪市中央公会堂にて開催されます。大阪市中央公会堂は堂島川と土佐堀川が流れる中之島に大正時代に建てられ、美しい外観と内部意匠は国指定重要文化財に指定されています。講演は、中村好秀先生による小児のアブレーション治療やデバイス治療の歴史を、東京医科歯科大学の古川哲史先生に「His-Purkinje システムと不整脈」というタイトルで講演頂きます。2日目のランチョンセミナーは、日本大学循環器内科の永嶋孝一先生に「マハイム・ノドベンを未読スルーしないための能動的60分間」を講演いただきます。2日目の午後に、「第二回 学校心臓検診の未来を考えるシンポジウム」を催します。今回は、招待講演2演題、公募3演題で構成され、和光女子大学の原光彦先生に「小児生活習慣病予防健診の現状と将来の心血管イベント予防を見据えたシステム構築」、京都大学の石見拓先生に「PHR時代に学校心臓検診を活かす！課題と展望」を講演頂きます。感染対策をとりながら、face to faceで議論を活発に交わすことを楽しみにしております。

皆さま是非 ご参加ください。

学会 HP URL: <https://e-stepinc.com/shinden26/index.html>

2022年10月24日

第26回日本小児心電学会 会長 鈴木嗣敏

日本小児心電学会代表幹事 岩本眞理